

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)

【公開番号】特開 2013-86952 (P2013-86952A)
 【公開日】平成 25 年 5 月 13 日 (2013.5.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-023
 【出願番号】特願 2011-231562 (P2011-231562)
 【国際特許分類】

B 6 5 G 47/80 (2006.01)

B 2 3 Q 7/03 (2006.01)

B 6 5 G 47/14 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 G 47/80 Z

B 2 3 Q 7/03 Z

B 6 5 G 47/14 1 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 11 月 20 日 (2014.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転駆動される搬送帯 (11) と、回転駆動自在に支持される回転テーブル (21) とを備え、前記搬送帯 (11) によって搬送される製品 (43) を、前記回転テーブル (21) に受け渡して回収する製品回収装置において、前記搬送帯 (11) と一体的に回転する回転部 (9) と、前記回転テーブル (21) の駆動力入力部 (26) とを連係する連係手段 (29) を設け、該連係手段 (29) を介して前記搬送帯 (11) 及び前記回転テーブル (21) を連動駆動するアクチュエータ (12) を設け、1 つのアクチュエータ (12) によって前記搬送帯 (11) と前記回転テーブル (21) の両方を駆動する製品回収装置。

【請求項 2】

前記回転テーブル (21) を回転自在に支持するベース板 (16) を設け、該ベース板 (16) を、前記搬送帯 (11) を支持するフレーム (8) 側に着脱自在に支持して設けた請求項 1 に記載の製品回収装置。

【請求項 3】

前記フレーム (8) に、支持板 (14) を着脱自在に設け、該支持板 (14) に前記ベース板 (16) を一体的に固定し、前記支持板 (14) にスプロケット (33, 34) を回転自在に支持し、前記連係手段を無端チェン (29) とし、該無端チェン (29) を、前記スプロケット (33, 34) を介して、前記搬送帯 (8) の駆動力入力部 (9) と、前記回転テーブル (21) の駆動力入力部 (26) に設けられるスプロケット (13, 28) の間に掛け回した請求項 2 に記載の製品回収装置。

【請求項 4】

前記アクチュエータ (12) が間欠的に駆動され、前記搬送帯 (11) 及び前記回転テーブル (21) を間欠的に回転させる請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載の製品回収装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するための本発明の製品回収装置は、回転駆動される搬送帯11と、回転駆動自在に支持される回転テーブル21とを備え、前記搬送帯11によって搬送される製品43を、前記回転テーブル21に受け渡して回収する製品回収装置において、前記搬送帯11と一体的に回転する回転部9と、前記回転テーブル21の駆動力入力部26とを連係する連係手段29を設け、該連係手段29を介して前記搬送帯11及び前記回転テーブル21を連動駆動するアクチュエータ12を設け、1つのアクチュエータ12によって前記搬送帯11と前記回転テーブル21の両方を駆動することを第1の特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

第2に、前記回転テーブル21を回転自在に支持するベース板16を設け、該ベース板16を、前記搬送帯11を支持するフレーム8側に着脱自在に支持して設けたことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第3に、前記フレーム8に、支持板14を着脱自在に設け、該支持板14に前記ベース板16を一体的に固定し、前記支持板14にスプロケット33、34を回転自在に支持し、前記連係手段を無端チェン29とし、該無端チェン29を、前記スプロケット33、34を介して、前記搬送帯8の駆動力入力部9と、前記回転テーブル21の駆動力入力部26に設けられるスプロケット13、28の間に掛け回したことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第4に、前記アクチュエータ12が間欠的に駆動され、前記搬送帯11及び前記回転テーブル21を間欠的に回転させることを特徴とする。